

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス はびてい			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 19日		～	2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2026年 1月 19日		～	2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士、作業療法士、保育士などの専門職員を多く配置している。	日常的に姿勢管理や訓練が、生活の中に組み込まれている。	人員を増やし、よりケアの質を向上させる。
2	障害児通所用の建築物のため、安全に過ごせる。	車椅子でも快適に過ごし、重症心身障害児対応の座位保持装置なども設置している。	安全面の配慮を今後も検討していく。
3	研修が充実している。	法定の研修以外にも障害特性の理解に力を入れている。	外部研修への参加を増やす。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障がいのない同年代の児童との関りが乏しい。	重度心身障害児が多く関わるの機会を持つことが難しい。	安全面に注意しながら職員の配置を検討する。
2	地域に開かれた行事等の実施が少ない。	実績が少なく、また保護者への周知もできていない。	今年度を実施した他団体の親の会などに提供を促す。
3	家族会等の保護者同士の交流が少ない。	就労している保護者が多く、調整が難しい。	保護者懇談会の周知や調整を強化する。